

北海道大学低温科学研究所共同研究 開拓型研究課題
「グリーンランド南東ドーム浅層コアに関する成果発表会」

会期 2016年7月28日-29日
場所 北海道大学 低温科学研究所 2階 講義室
主催 低温科学研究所（共同研究）
研究代表者 植村立（琉球大学）
所内担当者・問い合わせ先 飯塚芳徳（低温研）

28日午前

冒頭のあいさつ

・ 基本解析データ

9:00-9:30 飯塚芳徳、的場澄人(低温研)：「コアの低温室処理と配分、基本分析結果、年代について」

・ アイスコア物理と圧密モデル

9:30-9:55 庭野匡思（気象研究所）：「NHM-SMAP 領域気候モデルと深層フィルムモデルの開発」

9:55-10:20 堀彰（北見工業大学）：「SE コアの高分解密度測定に見られる表面融解」

休憩（15分）

10:35-10:50 藤田秀二（国立極地研究所）：「誘電異方性解析からみた、SE コアのフィルム構造のユニークな発達」

10:50-11:15 山口悟、藤田耕史（防災科研、名大）：「NIR について」

11:15-11:40 安達聖、山口悟（防災科研）：「Xray_microCT について」

11:40- 低温室とアイスコアの見学会（希望者のみ）

11:40- 物理グループ会合（食事をしながら、各自の結果の整理と論文化に向けて）

28 日午後

13:30- 所長挨拶

・ アイスコア化学

13:45-14:10 古川峻仁（低温研）、植村立、的場澄人、飯塚芳徳：「SE コアの水の酸素・酸素同位体比分析」

14:10-14:35 関宰（北大低温研）：「SE ドームアイスコアの有機エアロゾルトレーサー分析」

14:35-15:00 佐々木千晶、鈴木利孝（山形大学理学部）：「グリーンランド南東ドームコア中の金属全濃度分析」

休憩（15分）

15:15-15:40 Bautista Angel T.、三宅 泰斗、松崎 浩之（東京大学大学院工学系研究科原子力国際専攻、東京大学総合研究博物館）：「Time-course variation of Iodine-129 concentration in the Greenland SE dome ice core」

15:40-16:05 服部祥平（東工大）：「三酸素同位体組成に着目した大気酸化力の復元」

16:05-16:30 宮本千尋、高橋嘉夫（東大）：「XAFS を用いたアイスコア中粒子の硫黄とカルシウムの化学種解析」

16:30-16:55 大野浩（北見工大）：「SE コアに含まれる微粒子の光学顕微鏡観察およびラマン分光分析」

16:55-17:20 飯塚芳徳（低温研）：「SE コアに含まれる微粒子の組成分析」（進行状況によっては発表取り止め）

懇親会 18:30 ごろから

29 日午前

・浅層コア掘削に関する将来構想

9:00-9:25 的場澄人（低温研）：グリーンランドシグマ D コアの運用とカムチャッカ掘削（仮題）

9:25-9:50 本山秀明（国立極地研究所）：「南極 H128 でのアイスコア掘削と検層観測（将来のグリーンランド掘削の参考として）」

9:50-10:15 藤田秀二（国立極地研究所）：「温度と堆積量の広域分布の観点からグリーンランド広域の変動、-特にマイクロ波リモートセンシングに関連して-」

休憩（15分）

10:30-10:55 松崎浩之（東京大学総合研究博物館）：「ヨウ素 129 を始めとする人為起源の放射性核種の観点から（仮題）」

10:55-11:20 高橋嘉夫(東京大学)「アイスコア中の元素の化学種と同位体比に基づく環境地球化学」

11:20-11:45 植村立(琉球大学理学部)：「分析技術とフィールドの連携によるアイスコア研究の展望」

総合討論（最大 15 分、遅くとも 12:00 まで）